



全5講座、期待集めて開講

各講座、5月の第1講座が終わりました。受講者のみなさんが、終了後のひとこと感想にもたくさんご協力いただいていることに感謝！です。通信には紙面の都合でほんの一部しか掲載できませんが、講師や運営委員会の励みになります。改善してほしいことも含めて、今後もよろしくお願いします。お休みされた方も、以下のような簡単な報告ですが、1回目の講座をイメージしていただけたらと思います。

今年度の受講登録者は、①時事問題講座 34名、②歴史講座 49名、③自然科学講座 16名、④健康講座 30名、⑤美術鑑賞講座 16名です。みなさん、最後まで大学を楽しみましょう！



時事問題講座 5月8日 講師：鈴木元氏

いよいよ2年度目が始まりました。今年も時事講座をよろしくお願いします。

第1回目の講師は、国際環境整備機構理事長など国際的な要職にあるジャーナリストの鈴木元氏でした。昨年度は2回にわたり「半世紀ぶりに激動する世界」をテーマに、「欧米と日本は先進国」などの固定観念をときほぐす講義をいただきましたが、今年度はその上に立って「世界史の見直し」、その必要性について講義をいただきました。

近世までの中国、インドなどの繁栄をコロンブスなどの「大航海時代」で巨大な利益を上げた1500年ごろを境に西欧が逆転したこと。それにより南米やアフリカの先住民が激減していった事実。なぜ産業革命がイギリスで起こったか。中国にみる農耕民族と遊牧民族の国家論。近年、また再逆転の世界史になりえる。などなど文明的視点も加え、世界史の視点を変える素晴らしい講義でした。

世界史、とても興味深く拝聴しました。何を習ってきたのかという思いもありおもしろかったです。

初めて触れる歴史の内容で難しい内容でした。しかし、普段には絶対に手にしない書籍の内容に触れることができたのはとても有意義でした。知的好奇心が湧いてきました。

歴史講座 5月9日 講師：井口和起氏

本年度は教室が4号館の4階から、2号館の1階にかわり、講師は全回を本校校長の井口先生が担当され、昨年度とは多少趣きが異なったスタートです。この講座では、明治時代を直接動かした政治家や権力者ではなく、市井の人物を通してその時代を民衆がどう生きたかを話していかれます。第1回では福沢諭吉を通し、思想の形成では海外の動きと日本に及ぼした影響など、様々な要素が絡み合っていることも明らかにされました。アンケートでは、内容が若干難しいという意見も少なからずありましたが、同時に、興味も持てたということでした。

ひとこと感想 お帰りに切り取ってお出してください

今日の講座は 月 日 (〇をつけてください⇒) 時事問題講座 歴史講座 自然科学講座
健康講座 美術鑑賞講座

今日の講座はいかがでしたか(裏面にも書けます)

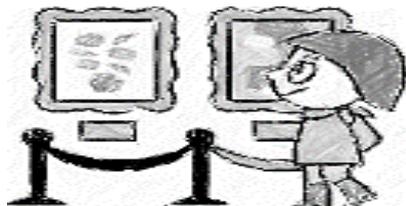
よろしければお名前() 無記名でもかまいません

美術鑑賞講座 5月14日
講師：真鍋宗平氏

受講生募集のパンフレットでは、講師の紹介が間に合わなくて、申し訳ありませんでした。

第1回目(5/14)・第2回目(6/11) 西洋美術史
第4回目(8/13)・第5回目(9/10) 日本美術史
第7回目(11/12)・第8回目(12/10) 現代美術史

以上6回は、造形作家真鍋宗平先生にお願いすることになりました。一時大山崎町の町長として忙しい時期もあったそうですが、現在は、造形作家に戻って、美術鑑賞の手ほどきをお願いできることになったというわけです。



5/14の第1回目は、ゴッゲンから始まり、残り5回の講義の全体構想について語っていただきました。ゴッゲンの「我々はどこから来たのか、我々は何者か、我々はどこへ行くのか」という作品がありますが、このタイトル通りに、日本人の見た西洋美術の世界を源流にたどり、そこから、日本美術をとらえなし、現代美術の「漂流」をみるという構想のようです。



老年期を健やかに過ごしたいと思い、夫と二人で参加しました。自分の体の現状をきちんと知り、対応していきたいと思えます。

美術は好きだと思っている私の、なんと薄っぺらな絵の見方だったのだろう。今回参加した社会人大学校美術鑑賞講座。講師真鍋宗平先生のサリとまた奥の深くのご説明に引き込まれていく自分が不思議で嬉しかった。

自然科学講座 5月17日
講師：大島淳氏

バイオとは何か、長浜バイオ大学の大島淳教授の講義を学びました。人類は生命現象を利用して数千年前からお酒やチーズを作ってきており19世紀以降バイオテクノロジーなど学問として位置づけられた。微生物や抗生物質、酵素の発見、さらに生命体の設計図は何かというところに到達し、遺伝子の正体は『DNA』であることが突きとめられる。1980年にはバイオ界における産業革命と言えるPCR(数時間で100万倍にもDNAをコピーできる技術)が完成し、考古学や犯罪捜査、人類学などに使われている。iPS細胞などにも寄与しているというお話は、興味の尽きない今日的なお話で次の講義を期待するという参加者の感想でした。

健康講座 5月25日
講師：芦田信之氏

初日のメインは、日常体力の測定。12月にどれだけ改善したかを再度測定する予定です。

日常生活を楽にするためには、「ギリギリ何とかできる」体力ではなく、「少し余裕を持ってできる」プラスαの体力を維持することが大切。そのために運動を続けましょう。でも、無理をしてはいけません、自分が「ここまではがんばる範囲」もちゃんと知っておきましょう。

ということで、「起居動作」「家事動作」「身辺動作」のタイムや心拍数、身長・体重、血圧を図り、記録。公立大の学生さんや保健室の先生にもお手伝いいただきました。

(ひとこと感想の続き、質問、ご意見など)

